

番号	92	水害復旧記念碑 佐賀縣知事 鍋島直紹		
所在地	小城市三日月町道辺 1 9 0 8			
災害別	昭和 2 8 年（ 1 9 5 3 ） 水害（ 2 8 水）			
目的別	記念碑		建立年	昭和 2 9 年 1 0 月
特記事項	碑文は判読困難			



小城市三日月町道辺の祇園川沿いにある観音堂境内に建つ昭和28年6月水害(通称28水)の復旧記念碑。

碑文は判読困難であるが、三日月町史にその全文が掲載されているので引用する。

※以下、三日月町史 下巻 (H元年11月1日発行) P161~162より

水害復旧記念碑 佐賀県知事 鍋島直紹
「昭和二十八年六月十八日より六月三十日に亘る未曾有の豪雨に依り、各河川は瞬時に氾濫し、祇園川左岸道辺地区の堤塘は部落民昼夜必死の補強工作も効を奏せず、終に六月二十六日未明道辺橋上流百五十米地点より百米余欠潰し、濁流の土砂は当部落全域に流入し忽にして泥海と化し惨害は其

の極みに達す、明れは我等の生命に綱たる四十余町歩の美田は一瞬にして荒野となり、秋の稔りは一夜の夢と化し茫然自失となるも、此れか復旧は人為にまつ他に策なしと一同互いに奮起を促し、復旧組合を組織し老幼男女打って一丸となり仆れて後止むの堅き決意の下に復旧工事に着手せり、尚村長並各関係官庁の協力と地元請負業者の努力及部落民必死の作業により、当初懸念せし難工事も一年有半にして復旧完成の美果を収め得たるは誠に喜びにたえず、此れを記念せし本碑を建立す 昭和二十九年十月」(原文はカタカナ表記)





国土地理院電子国土 Web